

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 2 月 12 日 (2009.2.12)

【公開番号】特開 2006-14291 (P2006-14291A)

【公開日】平成 18 年 1 月 12 日 (2006.1.12)

【年通号数】公開・登録公報 2006-002

【出願番号】特願 2005-150837 (P2005-150837)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/225 C

H 0 4 N 5/225 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 12 月 18 日 (2008.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の撮影時空間を撮影するための撮影システムであって、

前記所定の撮影時空間を撮像する少なくとも 2 つの焦点距離が異なる撮像モジュールを有し、

前記各撮像モジュールは、前記撮影時空間内の任意の時点において同じ大きさの対象物を撮影した場合、同じ大きさの対象物画像となるように撮影倍率が設定されていることを特徴とする撮影システム。

【請求項 2】

前記異なる焦点距離を持つ撮像モジュールの各々は、前記撮影時空間内の任意の時点において同じ大きさの対象物を撮影した場合、前記同じ大きさの対象物を鮮明に撮像できる合焦範囲を有するものであり、

前記異なる焦点距離を持つ撮像モジュールの各々は、前記撮影方向における前記合焦範囲が連続するか、または一部が重なるように配置されている請求項 1 に記載の撮影システム。

【請求項 3】

前記各撮像モジュールは、焦点距離毎に複数設けられ、焦点距離が異なる撮像モジュール毎に前記撮影方向と直交する方向に 2 次元的に広がる撮影範囲を撮影する請求項 1 または 2 に記載の撮影システム。

【請求項 4】

さらに、前記各撮像モジュールにより撮影された画像を表示する表示部を有する請求項 1 に記載の撮影システム。

【請求項 5】

前記撮像モジュールのうち、焦点距離が長い撮像モジュールは、焦点距離が短い撮像モジュールに比して密に配置されている請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の撮影システム。

【請求項 6】

前記撮像モジュールは、焦点距離毎に撮影距離が設定されている請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の撮影システム。

【請求項 7】

前記焦点距離が同じ全ての撮像モジュールによる撮影範囲が、前記焦点距離毎の前記撮影範囲の各中心が同一線上に位置するように、前記各撮像モジュールが配置されている請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の撮影システム。

【請求項 8】

前記焦点距離が短い第 1 の撮像モジュールによる第 1 の撮影範囲は、前記焦点距離が長い第 2 の撮像モジュールによる第 2 の撮影範囲よりも小さい請求項 7 に記載の撮影システム。

【請求項 9】

前記焦点距離が短い第 1 の撮像モジュールによる第 1 の撮影範囲は、前記焦点距離が長い第 2 の撮像モジュールによる第 2 の撮影範囲よりも大きい請求項 7 に記載の撮影システム。

【請求項 10】

前記各撮像モジュールは、撮影タイミングが同期している請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の撮影システム。

【請求項 11】

前記撮像モジュールは、撮影対象の画像を光電変換して前記撮影対象の画像データを取得する光電変換素子を有する請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の撮影システム。

【請求項 12】

所定の撮影時空間を撮影するための撮影方法であって、

前記撮影時空間内の任意の時点において同じ大きさの対象物を撮影した場合、同じ大きさの対象物画像となるように撮影倍率が設定された、少なくとも 2 つの焦点距離が異なる撮像モジュールを用いて、前記所定の撮影時空間を撮影することを特徴とする撮影方法。